

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立練馬工業高等学校	剣道部	

1 当該部活動の基本方針

- ① 新型コロナウイルス感染に罹患しない事を第1に考える。
- ② 稽古においては、マスクを着用し、できるだけ距離をとり乱取稽古（立技、寝技）の時間を制限して行う。

2 活動場所における感染症対策

- ① 通風・換気に十分に注意する。道場の窓、扉は開けた状況で使用。
- ② 送風機を用い、上方または下方に角度を付けて送風する。

3 活動前後の感染症対策

- ① 稽古を行う者は、飛沫の飛散防止等のため、装着した者から相手への飛沫の飛散を防止するため、必ずマスクを着用する。相手からの飛沫を効率良く防止するため、マウスシールドの着用は必須とする。
- ② 活動後は手指の消毒、防具の消毒を行う。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ① 道場にて着替えを行い、三密を避ける。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ① 木刀による剣道基本技稽古法や日本剣道形など、剣道の合理的な動きを動画を見て学ぶとともに実際に行ってみて一人ひとりが稽古に励む。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	サッカー部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 技術の向上
- (2) チームワークを育む

2 活動場所における感染症対策

- (1) 活動中は不織布マスクを正しく着用させる。
- (2) 活動前後にアルコール消毒をする。
- (3) ソーシャルディスタンスを保ちながら活動を行う。

3 活動前後の感染症対策

- (1) 活動前に体温を測るようにする。
- (2) 教室環境を整え、換気を徹底する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- (1) 学校で決めている活動時間を厳守する。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- (1) 部長中心に部員同士で話し合わせ、上記内容の徹底および内容確認を行わせる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	サイクリング部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 平日はスポーツ自転車のメンテナンス技術向上に努める
- (2) 平日は3本ローラーを用いて、体を鍛える。
- (3) 学期に数回ほど、休日にサイクリングを実施する。

2 活動場所における感染症対策

- (1) メンテナンス時はマスクをつける
- (2) 3本ローラーを用いて練習している生徒以外はマスク着用を徹底する。
- (3) 校外でのサイクリングは、マスクを着用しても走れるスピードにする。
(ただし、熱中症の危険がある場合、マスクは着用しない。)

3 活動前後の感染症対策

- (1) 部活の終わりは、手洗いを実施する。
- (2) 校外のサイクリングは2週間前から検温などの体調管理をする。

4 部室・更衣室等の利用計画

- (1) 部室ではマスクを着用する
- (2) 日ごろから衛生管理に気を付ける。
- (3) 部室内での飲食は禁止する。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- (1) 部室内にコロナ完成予防のポスターを掲示する。
- (2) コロナの感染対策をするためには、何をすべきか生徒が考える機会を設定する。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立練馬工業高等学校	柔道部	

1 当該部活動の基本方針

- ③ 新型コロナウイルス感染に罹患しない事を第1に考える。
- ④ 稽古においては、マスクを着用し、できるだけ距離をとり乱取稽古（立技、寝技）の時間を制限して行う。

2 活動場所における感染症対策

- ① 柔道場の窓開け、廊下側の扉2か所、3方向を開けて稽古を実施。また、強制換気も併用する。
- ② 手洗いやアルコール消毒、うがいやマスクの着用
- ③ 柔道着や畳、ウエイト器具の消毒

3 活動前後の感染症対策

- ① 手洗いやアルコール消毒、うがいや稽古後、新しいマスクに交換する。
- ② 柔道着や畳、トレーニング器具の消毒

4 部室・更衣室等の利用計画

- ② 柔道場に個人の棚を作成し、共有避ける。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ① 新型コロナウイルスにより、今まで普通に行っていた稽古が当分の間できないのでひとり稽古などでもモチベーションをもって積極的におこなう気持ちを育成する。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	水泳部	

1 当該部活動の基本方針

- ・活動を通して集団内でのコミュニケーション能力を高める。
- ・生涯に渡って楽しめるよう、活動を通して自己肯定感を高める。

2 活動場所における感染症対策

- ・屋内活動中は窓や扉を常時開放する。
- ・消毒用アルコールを用いて、使用直後に察し器消毒を毎回行う。
- ・活動中のマスク着用の徹底。

3 活動前後の感染症対策

- ・活動前の体調管理の徹底。体調に違和感があるときは活動しない。
- ・活動の前後では手指のアルコール消毒を実施する。
- ・活動後は速やかに解散帰宅する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ・更衣は短時間で行う。
- ・更衣の際はソーシャルディスタンスを保って行うよう指導する。
- ・マスク着用の徹底。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・何事においても、教員からの指示は最小限にし、生徒同士で目的を達成する方法を考えることを習慣化させる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立練馬工業高等学校	卓球部	

1 当該部活動の基本方針

- ・部員同士で話し合いながら、切磋琢磨し、卓球の技術の向上を図る。
- ・卓球を通してコミュニケーション能力を育成し、良い友人関係を構築する。
- ・日々の活動をととして、

2 活動場所における感染症対策

- ・活動中は窓や扉を常時開放する。
- ・消毒用アルコールを用いて、使用直後に察し器消毒を毎回行う。
- ・原則活動中のマスク着用の徹底。激しい活動の時は、呼吸が整い次第、マスクを着用させる。
- ・私語厳禁。

3 活動前後の感染症対策

- ・活動前の体調管理を確認し、体調に違和感があるときは活動しない。
- ・活動の前後では手指のアルコール消毒を実施する。
- ・活動後は速やかに解散帰宅する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ・更衣の際はソーシャルディスタンスを保って行うよう指導する。
- ・マスク着用の徹底。
- ・私語厳禁。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・部長中心に部員同士で話し合わせ、上記内容の徹底および内容確認を行わせる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	ダンス部	

1 当該部活動の基本方針

- ・校内外の発表会に向けて練習を行う。
- ・練習を通して集団内でのコミュニケーション能力を高める。
- ・発表を通して自己肯定感を高める。

2 活動場所における感染症対策

- ・活動中は剣道場の窓や扉を常時開放する。
- ・消毒用アルコールを剣道場内に設置し、こまめに使用させる。

3 活動前後の感染症対策

- ・活動の前後では手指のアルコール消毒を実施する。
- ・活動後はCDプレイヤー等の消毒を行う。

4 部室・更衣室等の利用計画

更衣の際はソーシャルディスタンスを保って行うよう指導する。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・接触するような振り付けは行わないよう指導し、どのような活動であれば接触することなく活動できるかを考えさせる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立練馬工業高等学校	硬式テニス部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 練習の積み重ねによるテニスプレイヤーとしての技術の向上。
- (2) あいさつを基本とし、先生と部員同士の交流を図る。
- (3) 常に、公式戦を意識し活動する。

2 活動場所における感染症対策

1. 手洗い、うがいの徹底。
2. ソーシャルディスタンスを意識し、接触をできるだけ避けるプレーをする。

3 活動前後の感染症対策

1. 毎朝の検温
健康観察に気を配り体調が悪い場合は、参加を控えるよう注意を促す。
2. 帰宅後の検温

4 部室・更衣室等の利用計画

1. 部室においては蜜を避けるために入室人数の制限。
2. 更衣時には、密集を避けるとともに、会話は控える。また、部活動終了後は速やかに帰宅する。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

1. 生徒が自ら、ネットやテレビなどを積極的に見て、感染対策の方法や必要性を感じる取り組みを行う。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	トレーニング部	

1 当該部活動の基本方針

- ・外部施設でもパーソナルトレーナーに頼ることなく、各自が安全で効果的にマシントレーニングが行えるようになる。
- ・活動を通して集団内でのコミュニケーション能力を高める。
- ・体形、運動機能の変化を通して自己肯定感を高める。

2 活動場所における感染症対策

- ・活動中は窓や扉を常時開放する。
- ・消毒用アルコールを用いて、使用直後に察し器消毒を毎回行う。
- ・活動中のマスク着用の徹底。
- ・私語厳禁。

3 活動前後の感染症対策

- ・活動前の体調管理の徹底。体調に違和感があるときは活動しない。
- ・活動の前後では手指のアルコール消毒を実施する。
- ・活動後は速やかに解散帰宅する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ・更衣の際はソーシャルディスタンスを保って行うよう指導する。
- ・マスク着用の徹底。
- ・私語厳禁。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・トレーニングルームという限られた空間なので、教員も言葉を発しないようにする。言葉を発する必要がある場合は、部屋の外で、対面ではなく並列にて指導に当たる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	ハイキング部	

1 当該部活動の基本方針

- ・ハイキングに向けて体調管理を行い健全な精神と肉体を育成する。
- ・ハイキングを通して集団内でのコミュニケーション能力を高める。
- ・運動をすることで達成感、自己肯定感を高める。

2 活動場所における感染症対策

- ・活動時は検温・マスク着用・消毒を徹底する。
- ・活動当日は体調不良、熱が37.5℃の場合は参加させない。
- ・日ごろから体調管理に努める。

3 活動前後の感染症対策

活動前後は検温と体調管理を徹底する。

4 部室・更衣室等の利用計画

部室は物置としか使用しない。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

日常生活から体調管理を徹底する。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	男子バスケットボール部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 技術の向上と心身の成長を目指す。
- (2) 人として、外見だけではなく、中身もすばらしい人間を育てる。
- (3) 部員同士の交流を図り、切磋琢磨する環境をつくる。

2 活動場所における感染症対策

- (1) マスクを外す場面で円陣を組む等の発声をしない。
- (2) プレーとプレー間で生徒同士話し合う場合はマスクを着用する。
- (3) 生徒を小グループに分けて適切な距離をとって練習したりする。
- (4) 体育館の換気は、ドア・窓を2方向に常時開放する。

3 活動前後の感染症対策

- (1) 部活動の前後にアルコールによる手指消毒を行う。
- (2) 部活動を行う前には、顧問等による健康観察はもとより、生徒に自らの体調管理を確実に実施する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- (1) 更衣室や部室、屋内の活動場所は、必ず常時換気を行い、生徒を小グループに分けて短時間で利用する。
- (2) 更衣時には、必ずマスクを着用し、密集を避けるとともに、会話は控える。また、部活動終了後は速やかに帰宅する。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- (1) 部員同士で話し合わせ、上記内容の徹底および内容確認を行わせる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立練馬工業高等学校	バドミントン部	

1 当該部活動の基本方針

- ・技術力及び精神力の向上を図る。
- ・他者を思いやる気持ちや集団に所属する者としての考えや主体的に行動できる力を身に付ける。
- ・生涯スポーツとなるように基礎・基本を習得する。
- ・審判員の受験から競技に対する知識を身に付ける。

2 活動場所における感染症対策

- ・プレー中以外の時にはマスクの着用を行う。
- ・消毒の徹底を図る。
- ・可能な限り、距離を取った行動を行う。
- ・部員の顔色や些細な変化など、体調等に注意した指導の実施。

3 活動前後の感染症対策

- ・活動前後に寄り道などせずに、感染予防を意識した行動をさせる。
- ・感染予防を常に意識させる。
- ・体温や健康観察の徹底。
- ・開始及び終了時のミーティング時に感染者の状況などを共有し、感染症を意識させる。

4 部室・更衣室等の利用計画

- ・部室使用中は喚起を行い、感染予防に努める。
- ・更衣以外での部室の使用はしない。
- ・整理・整頓など、基本的な意識付けから感染予防を行う。
- ・部活動関係者以外の入室をさせない。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- ・大会や練習等の出場など、感染における不利益の大きさを意識させる。
- ・集団行動を意識させ、感染者が出た際に濃厚接触者でなくても部活動の停止などを行う旨を伝え、部活動全体で感染予防を意識させる。
- ・感染予防によらず、連帯感ある行動を意識させた指導を行う。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	バレーボール部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 練習の積み重ねによるバレーボールの技術の向上。
- (2) 活動を通じ、他生徒の模範になるプレイヤーを育成する。
- (3) 常に、公式戦を意識し活動する。

2 活動場所における感染症対策

1. 手洗い、うがいの徹底。
2. ソーシャルディスタンスを意識し、接触をできるだけ避けるプレーをする。

3 活動前後の感染症対策

1. 活動前の検温
健康観察に気を配り体調が悪い場合は、参加を控えるよう注意を促す。
2. 帰宅後の検温

4 部室・更衣室等の利用計画

1. 部室においては蜜を避けるために入室人数の制限。
2. 更衣時には、密集を避けるとともに、会話は控える。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

1. 生徒が自ら、情報収集をし、感染対策の方法や必要性を感じる取り組みを行う。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	硬式野球部	

1 当該部活動の基本方針

- (1) 社会に出ても通用する、一人前の人間を育てる。
- (2) 大会で一つでも多く勝利できるよう、技術の向上を目指す。

2 活動場所における感染症対策

- (1) ソーシャルディスタンスをきちんと行いながら活動を行うようにする。
- (2) 水分補給に関しても共有せず個々で行うようにする。

3 活動前後の感染症対策

- (1) 体温の確認を毎回行うようにする。
- (2) 手洗い・うがいを徹底するように指導する。

4 部室・更衣室等の利用計画

- (1) 長時間滞在しないように短時間の利用するように指導する
- (2) 部室内の会話などを控え、食事に関しても部室を利用せず、密にならないようにする。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- (1) 部員同士で話し合わせ、上記内容の徹底および内容確認を行わせる。

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
東京都立練馬工業高等学校	陸上競技部	

1 当該部活動の基本方針

「技術の向上」「体力・健康の維持・増進」「精神面の育成」を目標に、以下のことを大切に活動
①学校生活と陸上競技を両立すること ②学校のルールやマナーを守ること ③挨拶やコミュニケーションを積極的に行うこと ④チームとしての活動し、全員で協力して取り組むこと ⑤感謝の気持ちをもつこと ⑥目標に向かって努力し、最後まで諦めないこと

2 活動場所における感染症対策

- (1) 屋外活動を基本とし、荒天時に室内で行うときには、換気やマスクの着用を徹底する。
- (2) 休憩時などマスクを外す場面で会話や応援などの発声をしない。
- (3) 少人数での活動を行う。部員が増加した場合には、専門種目ごとに時間差で練習する。
- (4) アルコール、ハンドソープ、マスクなどを部活動内で用意し、感染対策に努める。

3 活動前後の感染症対策

- (1) 部活動の前後にハンドソープを用いた手洗い、アルコールによる手指消毒を行う。
- (2) 毎朝の検温はもちろんのこと、部活動を行う前には、顧問による健康観察、部員自らの体調チェックを行う。

4 部室・更衣室等の利用計画

- (1) 部室は用具の管理、更衣のみの使用とし、部員が長時間滞在したり、飲食をしたりしないようにする。
- (2) 部室は常に換気を行い、必ずマスクを着用した上で、短時間で更衣を行う。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- (1) 感染症対策を徹底した上で、部員同士で定期的に話し合いの場を設け、部活動運営や感染症対策について議論させる。
- (2) 顧問より定期的に感染症に関する情報や社会の感染状況などを伝え、危機感を持たせる。